

# 学術情報処理研究集会 研究発表予稿 原稿作成の手引き

## A preparation guide for a CACN manuscript

学術 太郎†, 情処 花子†, 原稿 三郎‡  
Taro Gakujutsu†, Hanako Jousho†, Saburo Genko‡

国立大学法人情報系センター協議会†  
情報処理大学 情報処理センター‡

Information Processing Centers of National Universities†  
Information Processing Center, Jouhoushori University‡

tg@nipc.org, hj@nipc.org†, sg@joushodai.jp‡

### 概要

本書では、学術情報処理研究集会 (CACN) の研究発表原稿の原稿作成について記します。Microsoft Word を用いる場合は本手引のソースファイルを直接編集ください。L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X を用いる場合は本手引にある体裁に合わせて調整ください。

キーワード キーワード1, キーワード2, キーワード3

## 1 原稿の構成要素

### 1.1 体裁について

原稿はA4 サイズ縦置きとし、以下のパラメータに従って体裁を整えてください。

**段組** 表題からキーワードまでは1段組、本文は2段組 (段間隔5mm)

**余白** 上部には25mm,下部および左右は20mm

**ヘッダおよびフッタ** ページ番号も含め、設定しないでください。

### 1.2 表題等について

表題等は以下の要領で構成ください。各項目の上下左右の余白は本手引の例にならって調整ください。

**表題** 和英両文を14ポイント太字で書き、センタリングしてください。英文論文の場合、和文は必要ありません。

**著者名・所属** 氏名を12ポイント、所属を10ポイントで和英両文で書き、センタリングしてください。英文著者名では姓名ともフルスペルで表記ください。

**概要** 本文が和文である場合は「概要」と見出しをつけ、概要を和文で記述ください。英文概要は不要です。本文が英文であれば「Abstract」と見出しを付け、英文で概要を記述ください。和文概要の併記は不要です。

**キーワード** 「キーワード」または「Keywords」と

記載し、キーワードを列挙してください。

### 1.3 本文について

- ・ 本文は10ポイントを使用してください。書体は、和文であれば明朝体、英文であればTimes Roman系フォントを使用してください。Wordを使用する場合、英文について等幅フォントが適用されないよう留意ください。
- ・ 見出し等は和文であればゴシック体、英文であればTimes Roman系bold faceを用いてください。Wordを使用する場合、本手引きのソースファイルで、「見出し1」「見出し2」のスタイルが利用出来ます。
- ・ 和文句点は「。」読点は「，」で、それぞれ全角で記述ください。
- ・ 全角英数字、半角カタカナは、特に使用する必要がある場合以外は避けてください。
- ・ 図表は、「図1」「表1」のように通し番号を振り、和文または英文でキャプションを付けて下さい。

表1 表の例

	カラム名1	カラム名2
行タイトル1	要素1	要素2
行タイトル2	要素3	要素4

- ・ 緒言の節は「はじめに」もしくは「Introduction」とし、結論の節は「むすび」

もしくは「Conclusion」としてください。

#### 1.4 参考文献について

参考文献は、本文で[1],[2]のように出現順番号で参照し、その順で参考文献リストを作成ください。見出し「参考文献」には節番号を振らないでください。

参考文献リストの記述は本稿の末尾の例を参照ください。LaTeXでthebibliographyを用いるのであれば、リスト中はピリオド、コンマは半角を用いてください。ページ範囲は長ダッシュになるよう、LaTeXであれば“pp. 23--24,”のようにタイプしてください。

## 2 PDF作成ガイドライン

原稿は著者がPDFに変換して投稿ください。研究集会で配布されるPDFは、著者が最終提出したPDFに対し、ノンブル・ロゴ打ちなどの追加加工が行われます。スクリーン上の見栄え、印刷刷り上がり品質について、以下を参照のうえ、著者自身で調整ください。

### 2.1 PDFバージョン

PDFのバージョンは1.3以上1.6までとし、Adobe Acrobat Reader 5.0でも閲覧が可能ないように作成してください。

### 2.2 フォントの埋め込み

フォントは埋め込んでください。Acrobatなどでメニューからファイル→プロパティ→フォントと進み、すべてのフォントについて「埋め込みサブセット」となっていることを確認してください。埋め込めていないフォントについては、PDF閲覧・印刷環境によっては文字化け、文字抜けが発生する可能性があります。なお、フォントのライセンスによってはPDFへの埋め込みが禁止されていることがありますのでご注意ください。また、外字フォントの使用はできるかぎり避けてください。

図表内で用いられたテキストについて、フォントが埋め込み出来てないことが散見されます。文字等のアウトライン化が有効なこともあります。

### 2.3 画像等の解像度

画像等はできるだけ高品質な仕上がりになるよう調整してください。なお、査読コメントとして画像の品質の低さがしばしば指摘されています。アンチエイリアシングやジャギーの発生にはご注意ください。

### 2.4 ハイパーテキスト

本文中に設定されたハイパーテキストは原則削除しません。リンクによるコンテンツへの到達性、リンク切れ等には十分ご注意ください。

### 2.5 セキュリティ設定

上記のノンブル埋め込み作業を要するため、PDF

ファイルにはセキュリティを設定しないでください。

### 2.6 しおり等

PDFの「しおり」を始め、メタデータは付けしないでください。削除されるか別の情報で上書きされます。

### 2.7 その他留意事項

PDFに写真などの画像データについて、その一部を隠す必要がある場合、PDF作成ソフト等で黒いオブジェクト等をマスクとして重ねる方法では、のちにそれらマスクは容易に除去され得ます。画像ピクセルレベルでマスクしてください。

## 参考文献

- [1] 研究 次郎, 学術 良子, “キャンパス内トラフィック解析によるハザードポイント特定”, 学術情報処理研究, No. 44, pp.145–152, DOI: 10.24669/jacn.44.1\_555, Nov. 2040.
- [2] 協会 宏, 集会 隆夫, “遠隔業務における着座時間と業務成績の関係,” 某学会論文誌, Vol. 15, No. 4, pp. 31–39, Apr. 2020.
- [3] N. I. Peacy, *Beyond the BYOD*, Virtual Publisher, NewYork, 2019.
- [4] 国立大学法人情報系センター協議会, <https://www.nipc.gr.jp> (2019年5月28日 参照)